

## 試験（2） 米の育成（バケツ苗）

### ▶試験内容

田植えから1ヶ月経過した稲穂を根を痛めないように抜き取りバケツの中で育成する。収穫までにアグリセーフ 10万倍希釈※1を分けつ期、出穂前後の3回投入する。

※1 10万倍希釈はおよそ10aの水田に1%アグリセーフを使用した濃度。アグリセーフの使用区と未使用区で比較する。

### ▶試験結果（アグリセーフ使用区での効果）

- ・程よく分けつが広がり、太くまっすぐに茎が育っている。
- ・米の収穫量はアグリセーフ使用27g、未使用で15gと大きな差が生た。



アグリセーフ使用



未使用



## 試験（3） 米の育成（圃場にて）

### ▶試験内容

10aの水田でアグリセーフの使用区と未使用区で比較した。

投入区には10万倍（10aに対して1%）を流し込む。投入回数は分けつ期、出穂前後の合計3回実施した。

### ▶試験結果（アグリセーフ使用区での効果）

- ・追肥が不要になり、費用面・作業面の両方で負担が軽減した。
- ・未使用区に比べて、収量が約10%アップした。

### 【お客様の声】

猛暑時期の出穂の際に、30kg近い肥料を背負って行う追肥作業はとてつらくその作業がなくなっただけでも肉体的な負担がかなり軽減されました。